

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年9月8日
クラス名(年齢)	きりんぐみ(4歳児)、らいおんぐみ(5歳児)
年間テーマ	色

### 1.活動テーマ

〈テーマ〉

寒天ゼリーづくりに再挑戦

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

寒天をしっかりと固めたいという子ども達からの意見が多く、固める為には何が必要かを話し合った。子ども達と必要な物を準備し、寒天ゼリーづくりを計画した。

### 2.活動スケジュール

8名参加。好きな色水を作り、寒天を溶かした液を加えタライで冷やす。自分たちで作った神社にお参りに行く。

### 3.環境をデザインする




今までと同じものを用意し、子どもが量を自由に調節できるようにする。  
塩の量を増やしたいという意見も出た。それぞれが増やしたいものを十分に用意する。

### 4. 探求活動の実践

〈活動内容〉

固めたい色の色水を作る。加熱をした寒天液を入れる。タライは水と氷、水と氷と塩の2つのタライから選んで冷やす。  
タライにプラカップを入れた後、自分達で作った神社にお参りに行った。  
冷やした後、出来た寒天ゼリーで感触遊びを楽しむ。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>・「せんはここまでだよ!」と他児と協力して、プラカップの線を超えないよう慎重に色水を移し替える姿が見られた。</p> <p>・色水をタライに入れた子が「神社にお参りに行きたい」と話す。そのまま神社の前に行き、お参りをしていた。それを見た他児が真似をし、神社前に順番に並ぶ。</p> <p>・30分ほど経った頃、結果が気になった子どもがカップの中身の様子を見ると、すでに寒天が出来上がっていた。それを見て「さすが神様だね!」と言いながら、嬉しそうに他児に報告をしに行く。</p> <p>・氷の無い水で保育者の作ったゼリーが固まったことに驚く。「ゼリーって一体何で固まるの?」</p> <p>・願いが叶ったら神社にお礼参りをすることを伝えると、「寒天にしてくれてありがとう。ウルトラマンになれますように!」と様々なお願いをする子どもがいた。</p>	  

### 5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

子ども達が気付いたことを工夫しながら自由に量を調節できるように進めていった。今回はほぼ全員がゼリーをしっかりと硬さで固めることができ、子どもたちも喜んでいたので良かった。  
保育者が試しに常温の水で机の上に置いておいた色水も固まったことから、また子どもは疑問を持った様子だった。来年度の色水遊びでも、冷やさずに固まるのか、ゼラチンと寒天で固まり方に変化はあるか、などの視点を増やして活動を進めていきたいと感じた。